※令和４年度以降入学生用

学校番号	217

令和８年度　地歴科

教科	地歴	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	わたしたちの歴史　日本から世界へ（山川出版社）						
副教材等	わたしたちの歴史　日本から世界へ　ノート（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・産業社会と国民国家の形成を背景として、人々の生活や社会の在り方が変化したことについて理解し、歴史的諸事象と現在とのつながりを多面的に考察し、よりよい社会の実現を主体的に追究しよう。
・政治、外交、経済、思想や文化などの様々な面で国際的な結び付きが強まり、国家間の関係性が変化したことや、個人や集団の社会参加が拡大したことを背景として、人々の生活や社会の在り方が変化したことについて理解し、歴史的諸事象と現在とのつながりを多面的に考察し、よりよい社会の実現を主体的に追究しよう。
・科学技術の革新を背景に人・商品・資本・情報等が国境を越えて一層流動するようになり、人々の生活や社会の在り方が変化したことについて理解し、諸事象と現在とのつながりを多面的に考察し、よりよい社会の実現を主体的に追究しよう。

2　学習の到達目標

・現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。（知識および技能の涵養）
・歴史に関わる事象の意味や意義、特色や概念などを活用して、多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明する力を養う。（思考力・判断力・表現力などの涵養）
・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。（学びに向かう力・態度の涵養）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識に関しては、近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能に関しては、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	歴史の扉	・歴史と私たち　－学校の歴史 ①身近な事柄が、時間的な推移や空間的な結びつきのなかで歴史と結びつきをもっていることを理解する。 ②私たちの生活に関わる制度や習慣について分析する際に、それらが歴史的に構築されていることをふまえるのが大切であることを理解する。	a:「学校の歴史」を題材に私たちの生活や身近な地域などにみられる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解できている。 b:「学校の歴史」を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現できている。 c:身近な題材に対して自ら「問い」を立て、歴史との関連を追究しようとしている。		ワークシート	振り返りシート
	近代化と私たち	・18 世紀の世界とアジア ①18 世紀のアジアにおける経済や、文化の発達と同時代のヨーロッパ諸国の対外進出との関係について考察する。 ②江戸時代の日本における産業の発達と全国市場の形成を、いわゆる「鎖国」体制と関連付けて考察し、理解する。 ・産業革命 ①産業革命が、イギリスにおける綿工業を中心とした技術革新から始まったことを理解する。 ②産業革命による工業生産の機械化・大規模化と、世界の結びつきの変化について考察する。 ③産業革命による社会や暮らしの変化、民衆の反応について考察し、理解する。	a:18 世紀の世界とアジアや産業革命について、三角貿易や日本における鎖国体制の形成過程、イギリスにおける産業革命の背景などについて、理解している。 b:貿易統制と産業発達の関係や市場の形成について考察し、表現できている。資料などから、産業革命による技術革新の連鎖や世界の結びつきの変化、工業化や都市化がもたらした問題や民衆の反応について考察し、表現できている。 c:18 世紀のアジアと日本の概況やヨーロッパとの関係や産業革命と社会問題の発生に、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

1	近代化と私たち	・アヘン戦争と日本 ①18 世紀以降、日本近海に外国船が現れるようになった理由について考察する。 ②アヘン戦争の原因と戦争後の中国の変化や、欧米諸国の東アジア進出について考察し、理解する。 ③アヘン戦争に清が敗れたことが、江戸幕府の対外政策に与えた影響について考察する。 ・日本の開国と国際情勢 ①ペリー来航の背景と、それに対する江戸幕府の対応を理解する。 ②開国や通商開始にあたり、日本が結んだ条約の特徴について考察し、理解する。 ③開国後における洋学の発達を理解する。 ④日本が開国した頃、世界各地で数多くの戦争や反乱がおこっていた理由を考察し、理解する。 ⑤世界各地でおこっていた戦争や反乱が、開国後の日本に与えた影響を考察し、理解する。 ・開国後の日本社会 ①開港が当時の社会にどのような影響を与えたかを考察し、理解する。 ②開港前後における日本の政治状況について理解する。 ③対外貿易の影響が、倒幕運動にどのように結びついたのかを考察し、理解する。 ・市民革命と国民統合 ①18 世紀後半以降の欧米諸地域で市民革命がおこった背景について考察し、理解する。 ②アメリカ合衆国の独立以後、大西洋を囲んだ諸地域で革命や独立運動が連鎖したことを理解する。 ③フランス革命とナポレオンの活動が国民国家形成を促したことを考察し、理解する。	a: アヘン戦争とその影響について、ペリー来航と幕府の対応について背景を理解できている。開港後の社会混乱について理解できている。開港前後の時期に将軍後継者問題など国内の政治混乱があったことを理解できている。アメリカ独立やフランス革命の概要と自然法思想や社会契約説の概要について理解できている。 b: アヘン戦争後に江戸幕府が対外政策を変化させた理由について考察し、表現できている。資料などから、開港が社会に与えた影響について考察し、表現できている。対外貿易と倒幕運動の関係について考察し、表現できている。資料などから、ナポレオンの征服活動が被征服地に与えた影響について考察し、表現できている。 c: アヘン戦争の経緯とこれが日本に与えた影響、ペリー来航から通商開始に至る歴史、開国期の国際情勢が日本に与えた影響、開港と倒幕運動の関係、市民革命と国民統合の関連性などについて見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 定期考査 定期考査	ワークシート グループによる成果発表（ルーブリック評価） 定期考査	グループワークを用いた活動のワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

1	近代化と私たち	・明治維新 ①江戸幕府の滅亡から明治政府成立の過程を理解する。 ②明治新政府がどのようにして天皇中心の新国家を建設したかを考察し、理解する。 ・富国強兵と文明開化 ①明治政府の進めた富国強兵の具体的な内容を理解する。 ②欧米の産業技術の導入が、日本の文化や生活に与えた影響について考察し、理解する。 ・明治初期の日本の外交 ①明治初期の日本が抱えていた外交課題について考察し、理解する。 ②明治政府の外交が、欧米と近隣諸国とでは異なっていたことを理解する。 ③明治初期の外交によって、日本の領域が画定したことを理解する。 ・大日本帝国憲法の制定 ①自由民権運動が始まった背景や、その後の展開について考察し、理解する。 ②大日本帝国憲法が制定される過程と憲法の内容を理解する。 ③大日本帝国憲法の特徴について考察し、理解する。 ・日本の産業革命と日清戦争 ①明治期の日本で進展した産業革命の背景や特徴について考察し、理解する。 ②日清戦争がおこった背景と、戦争の経過および講和条約の内容を理解する。 ③日清戦争に勝利した日本に対する列強の反応について考察し、理解する。	a: 大政奉還から王政復古の大号令を経て戊辰戦争がおこった過程、徴兵令・地租改正・殖産興業の概要、文明開化の具体的な内容を理解できている。不平等条約の解消が大きな課題であったことや、自由民権運動の展開、大日本帝国憲法の制定過程や憲法の内容を理解できている。明治期の日本で進展した産業革命の概要を理解できている。日清戦争の原因と結果を理解できている。 b: 資料などから、明治政府の政策の新しい面と変わらなかった面について考察し、表現できている。資料などから、文明開化による変化、明治初期の外交の特徴、自由民権運動のひろがった背景、大日本帝国憲法の特徴、産業革命のもたらした変化などについて考察し、表現できている。資料などから、日清戦争の原因や当時の国際関係について考察し、表現できている。 c:明治維新の意義や、富国強兵や文明開化が日本に与えた影響、明治初期の外交と日本の領域が画定したこと、自由民権運動の展開と大日本帝国憲法制定の関係、自由民権運動の展開と大日本帝国憲法制定の関係、日本の産業革命の進展や日清戦争の経過について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 定期考査 定期考査	明治政府の政策を調べて班内で発表（相互評価ト） ワークシート 定期考査	授業内容の整理ワークシート 振り返りシート 家庭課題（調べ学習） 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

1	近代化と私たち	・帝国主義と国際情勢 ①第２次産業革命と帝国主義の関係を理解する。 ②帝国主義時代における世界分割の特徴や、列強間の国際関係の再編を考察し、理解する。 ③中国は独立を維持していたが、勢力圏の形成という形で列強の進出を受けていたことを理解する。 ・日露戦争と韓国併合 ①日露戦争から韓国併合に至る過程について理解する。 ②日露戦争の勝利がアジア諸地域に与えた影響について、中国を具体的な事例として考察し、理解する。 ③日清戦争と日露戦争の時期に、日本が不平等条約の改正に成功したことを理解する。	a: 第２次産業革命の進展には植民地や勢力圏獲得が必要であったこと、おもな分割対象がアフリカと太平洋海域であったこと、列強の中国進出と中国側の反応を理解できている。日露戦争の要因や経過、ポーツマス条約の内容について理解できている。不平等条約改正の過程について理解できている。 b: 資料などから、帝国主義時代の世界分割の特徴や現代の諸問題との関連について考察し、表現できている。日露戦争の結果が、アジア諸民族に与えた影響について考察し、表現できている。 c:帝国主義時代の世界分割と国際関係の変化、日露戦争とその影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査	ワークシート グループごとの成果物を発表（プレゼン、ルーブリック評価）	グループワークを用いた活動のワークシート
2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・大衆運動の芽生え ①日露戦争後における、日本の東アジア進出と列強の反応について考察し、理解する。 ②日露戦争後の世界の大衆運動について、理解する。 ③大衆運動と大正デモクラシーとの関係について考察し、理解する。	a: 日露戦争後に日米関係が悪化した背景や、大衆運動としての日比谷焼打ち事件、第１次護憲運動に始まる大正デモクラシーの概要を理解できている。 b: 資料などから、日本の東アジア進出に対する列強の反応や、大衆運動と大正デモクラシーの関係について考察し、表現できている。 c: 大衆運動の展開と社会の変化について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査		振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・第一次世界大戦と日本 ①第一次世界大戦がおこった背景について考察し、理解する。 ②第一次世界大戦の開戦から終結までの経過を理解する。 ③第一次世界大戦の「総力戦」としての性格について考察し、理解する。 ④日本が第一次世界大戦に参戦した背景と欧米諸国の反応について考察し、理解する。 ⑤第一次世界大戦中と大戦後で、日本の経済状況が大きく変化した要因について考察し、理解する。 ・ロシア革命と社会運動の広がり ①社会主義の特徴とこれが誕生した背景を理解する。 ②ロシア革命がおきた原因と革命の経過について考察し、理解する。 ③権利意識の高まりのなかで、日本でも普通選挙が実現したことを理解する。 ④米騒動以後、日本国内でも多様な社会運動が展開したことを理解する。 ・国際協調とアジアの民族運動 ①ヴェルサイユ体制とワシントン体制の特徴を理解する。 ②ヴェルサイユ体制がドイツに与えた影響について考察し、理解する。 ③第一次世界大戦後の世界における日本の国際的地位の変化を理解する。 ④第一次世界大戦後のアジア諸地域における民族運動について、地域ごとの特徴を考察し、理解する。 ⑤アジアの諸地域の民族運動が、その後の歴史に与えた影響について考察し、理解する。	a: 第一次世界大戦開戦直前の国際関係、大戦の経過、日英同盟が参戦の口実となったことや二十一カ条の要求のねらい、大戦景気、戦後恐慌の特徴について理解できている。社会主義の誕生、ロシア革命の経過とソ連の成立とその影響（各地での共産党の結成）について理解できている。日本国内の多様な社会運動の展開と参政権の拡大について理解できている。ヴェルサイユ体制とワシントン体制の特徴、アジア諸地域の民族運動の特徴と列強の対応について理解できている。 b: 資料などから、第一次世界大戦に至る国際関係、日本が参戦した理由、大戦景気から戦後恐慌に転じた要因について考察し、表現できている。資料などから、ロシア革命の背景や影響、日本の社会運動の多様性、ヴェルサイユ体制がドイツに与えた影響、アジアにおける民族運動の広がり、イギリスの多重外交の問題点などについて考察し、表現できている。 c:第一次世界大戦の概要や性格、日本の関わり、ロシア革命とその影響、日本における権利意識の高まりと社会運動の広がり、第一次世界大戦後における国際協調の広がり、アジア諸地域の民族運動やその影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 定期考査	定期考査 ワークシート	振り返りシート グループワークを用いた活動と評価シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・大量生産・大量消費社会と世界恐慌 ①第一次世界大戦後におけるアメリカ合衆国の経済的繁栄が、大量生産大量消費社会を生み出したことを理解する。 ②大量生産・大量消費社会の抱える負の側面について考察し、理解する。 ③第一次世界大戦後における日本の都市化と、都市を中心とした生活や社会の変化を理解する。 ④世界恐慌がおきた原因とその後の各国の対応について考察し、理解する。 ⑤1920 年代の日本の経済状況について考察し、理解する。 ・独裁勢力の台頭 ①第一次世界大戦後のヨーロッパでファシズムと呼ばれる政治体制が成立した原因と、その特徴について考察し、理解する。 ②独裁政権が人々の支持を得た要因と、その過程や影響について考察し、理解する。 ③スターリン支配下のソ連の政治体制を理解する。 ・日本のアジア進出 ①袁世凱の死後、中国国民党を中心に国内の統一が進められた過程を理解する。 ②中国統一の進行に対する日本の反応を考察し、理解する。 ③日本で軍部が台頭した背景とその影響を考察する。	a: アメリカ合衆国に始まる大量生産・大量消費社会の特徴、日本における都市化、世界恐慌の発生と各国の経済政策、日本が慢性的な不況のなかで世界恐慌の影響を受けたことを理解できている。ファシズム体制が成立した国やその特徴、スターリン支配下のソ連について、中国の統一が国民党を中心に進められたことや、日本が統一後の中国に対しても様々な干渉を加えたことを、具体的な事例とあわせて理解できている。 b: 資料などから、大量生産・大量消費社会の抱える負の側面や、世界恐慌の深刻さ、各国の対応について考察し、表現できている。資料などから、ファシズム体制が成立した背景や人々の支持を得た要因、ファシズム体制とスターリン支配下のソ連の共通点と相違点などについて考察し、表現できている。中国統一に対する日本の干渉や、日本において軍部が台頭した背景について考察し、表現できている。 c: 大量生産・大量消費社会の特徴やこれがもたらした影響、世界恐慌と各国の対応、ファシズムに代表される独裁体制が台頭した原因やその後の経緯、中国統一の進行と日本のアジア侵出の関係などについて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 定期考査	家庭課題（調べ学習、レポート課題） ワークシート	振り返りシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・第二次世界大戦 ①第二次世界大戦のおきた原因をドイツの領土拡大と関連付けて理解する。 ②第二次世界大戦の経過をドイツの行動を中心に理解する。 ③第一次世界大戦と第二次世界大戦の共通点と相違点について考察する。 ④日本の戦争目的と占領地における政策を考察し、理解する。 ⑤戦局の悪化に対する日本政府や軍部の対応と、国民生活の変化について理解する。 ⑥ヨーロッパ戦線でイタリアとドイツが敗戦に至った過程を理解する。 ⑦日本が敗戦に至った過程を理解する。 ・戦後国際秩序 ①国際連合とブレトン=ウッズ国際経済体制による戦後秩序の特徴を理解する。 ②国際連盟と国際連合の共通点と相違点について考察し、理解する。 ③敗戦国における戦後処理の特徴について地域ごとに理解する。 ・冷戦のはじまり ①冷戦前のヨーロッパにおける政治状況を理解する。 ②ヨーロッパにおける冷戦開始の背景と、その後の東西両陣営の動向について考察し、理解する。 ③冷戦が、アジアの国家建設にも影響を与えたことを理解する。	a: ドイツの領土拡大や占領政策をめぐる国際関係、日本の中国進出がアメリカ・イギリスとの対立を深め、太平洋戦争が勃発したこと、連合国が開催した会談の概要、イタリア・ドイツ・日本が敗戦にいたる過程などを理解できている。第二次世界大戦後の国際秩序の特徴や敗戦国における戦後処理の特徴、大戦後のヨーロッパにおける冷戦の推移や、冷戦がアジアの国家建設に与えた影響を具体的な事例とあわせて理解できている。 b: 資料などから、第二次世界大戦に向かう国際関係やドイツの行動、第一次世界大戦と第二次世界大戦の共通点と相違点について考察し、表現できている。資料などから、日本が太平洋戦争を始めた要因、「大東亜共栄圏」の理念と占領政策との違いを考察し、表現できている。資料などから第二次世界大戦による被害や犠牲、国際連盟と国際連合の共通点と相違点、ヨーロッパにおける冷戦の推移と東西両陣営の対応について考察し、表現できている。 c: 第二次世界大戦の特徴と戦争の経過、日本の大戦へのかかわり方、終結過程、戦後国際秩序の特徴や問題点、冷戦の開始が国際社会に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査	グループごとの発表（プレゼン、ルーブリック評価） 定期考査	グループワークを用いた調べ学習のワークシート 振り返りシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・日本の戦後改革と日本国憲法 ①GHQによる占領政策の特徴を理解する。 ②戦後改革の目的と成果について考察し、理解する。 ③日本国憲法の制定過程や憲法の特徴について理解する。 ・日本の独立 ①東アジアにおける社会主義の台頭が、占領政策の転換をもたらしたことを理解する。 ②朝鮮戦争と日本の独立との関係を考察する。 ③サンフランシスコ平和条約による日本の独立と、その後の問題点について考察し、理解する。	a:日本における間接統治、戦後改革の内容、日本国憲法の特徴について三原則をもとに理解できている。占領政策が転換されたこと、サンフランシスコ平和条約の締結と同時に日米安全保障条約が結ばれたことを理解できている。 b:資料などから、戦後改革の目的・成果や、制定された日本国憲法の内容、朝鮮戦争と日本の独立との関係、サンフランシスコ平和条約や独立後の日本の課題について考察し、表現できている。 c:日本の戦後改革の内容と日本国憲法の制定、日本の独立に至る経緯と独立後の課題について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査 定期考査	ワークシート	振り返りシート
3	グローバル化と私たち	・第三世界の登場 ①第二次世界大戦後におけるアジア諸地域の独立過程を理解する。 ②アジア・アフリカ諸国の独立過程で、生じた問題について考察し、理解する。 ③アジア・アフリカ諸国が第三世界として連帯した背景について考察し、理解する。 ・冷戦の固定化と「雪どけ」 ①冷戦構造の拡大と固定化が、核軍備拡大競争につながったことを理解する。 ②「雪どけ」が東西両陣営に与えた影響について考察する。 ③ラテンアメリカと冷戦の関係を理解する。	a: アジア諸国の独立過程、非同盟主義や、冷戦構造と核軍備拡大競争の過程、反核兵器運動の概要、ラテンアメリカと冷戦の関係について理解できている。 b: 資料などから、植民地支配がアジア諸地域にもたらした影響、アジア・アフリカ諸国が第三世界として連帯した背景、「雪どけ」が東西両陣営に与えた影響を考察し、表現できている。 c:第三世界の登場と国際的な影響、冷戦の拡大と固定化が国際社会に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

3	グローバル化と私たち	・冷戦の展開 ①「雪どけ」からスターリン批判に至るソ連の政策転換の概要を理解する。 ②スターリン批判や平和共存に対する東側陣営の反応について理解する。 ③キューバ危機を境に核軍縮が徐々に進んだ理由を考察し、理解する。 ④スエズ戦争について理解する。 ・55年体制と安保闘争 ①冷戦構造が戦後日本の政治に与えた影響について考察し、理解する。 ②日本の国際社会復帰を軸に独立後の外交の特色について理解する。 ③新安保条約をめぐる安保闘争の経過について理解する。 ・高度経済成長の光と影 ①高度経済成長の過程を理解する。 ②高度経済成長による日本の人々の生活様式や意識の変化を考察する。 ③高度経済成長のひずみやその対策について考察し、理解する。 ・ベトナム戦争とアメリカ ①ベトナム戦争が北側の勝利に終わった要因について考察し、理解する。 ②アメリカ国内の公民権運動とベトナム反戦運動が連動したことを理解する。 ③ベトナム戦争に苦戦したことからアメリカの対東アジア政策が転換したこと理解する。	a: ハンガリー事件の背景、中国における文化大革命によって毛沢東が権力を握ったこと、スエズ戦争の特質性などを理解できている。日本の保革対立や「逆コース」の概要、55 年体制の内容と意義、日本が国際社会に復帰する過程、高度経済成長の過程や諸問題が生じたことを理解できている。ベトナム戦争の特徴とアメリカ国内の公民権運動の関連性、アメリカの対東アジア政策の転換が米中接近や沖縄返還をもたらしたことを理解できている。 b: 資料などから、キューバ危機のおきた原因とその影響、55 年体制が成立する背景、安保闘争が高揚した要因、高度経済成長による人々の生活や意識の変化について考察し、表現できている。資料などから、ベトナム戦争が北側の勝利に終わった背景について考察し、表現できている。 c: 冷戦の展開と世界各地の動向、保守勢力と革新勢力の対立点、高度経済成長の光と影について、ベトナム戦争がアメリカや国際社会に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査 定期考査	ワークシート レポート課題（社会の変化について） ワークシート	振り返りシート 家庭課題（自己評価シート）

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

3	グローバル化と私たち	・経済構造の変化と経済大国「日本」 ①ドル=ショックがおきた原因と国際経済の変化を理解する。 ②第 1 次・第 2 次石油危機の背景と影響を考察し、理解する。 ③日本が安定成長の時代に経済大国化した過程を理解する。 ④日本の経済大国化と貿易摩擦の関係について考察し、理解する。 ⑤安定成長からバブル景気に至る過程と、バブル景気崩壊後の経済の低迷について理解する。 ・アジアの経済成長 ①アジアで経済成長を遂げた国や地域の特徴について考察し、理解する。 ②NIES や ASEAN の概要を理解する。 ③発展途上国の一部が成功したことから生じた新たな問題を理解する。 ・社会主義の停滞と新自由主義 ①社会主義が停滞した原因について考察する。 ②新自由主義の特徴と問題点を理解する。 ・冷戦の終結と冷戦後の地域紛争 ①ゴルバチョフの改革と東欧諸国の民主化の連動を考察し、理解する。 ②冷戦の終結がソ連の解体につながったことを理解する。 ③ヨーロッパとは異なり、東アジアで社会主義体制が維持されたことを理解する。 ④冷戦終結後に、世界各地で地域紛争が頻発した背景について考察し、理解する。 ⑤世界の紛争をおさえ、世界平和を実現するために日本が果たすべき役割を考える。	a:ドル=ショックの概要、経済危機への対応としてのサミット、第 2 次石油危機とイラン情勢との関係、日本が省エネや技術革新で貿易黒字化したこと、貿易摩擦、IT 産業が勃興したことが理解できている。アジアの経済成長、NIES・ASEAN の概要、南北問題と南南問題、社会主義停滞の原因、西側諸国における新自由主義の台頭などについて理解できている。ペレストロイカの概要や東欧革命の経過、冷戦の終結とソ連の解体、東アジアで社会主義体制が維持された理由、冷戦終結後の地域紛争や、その解決のために国際連合や日本の果たす役割について理解できている。 b: 資料などから、第 1 次石油危機と中東戦争の関係、日本が経済大国化する過程や貿易摩擦が発生した原因、アジアの経済成長、社会主義停滞の原因、冷戦の終結とその後の地域紛争の背景などを考察し、表現できている。 c: 1970 年代の経済危機の概要と西側諸国の対応、日本の経済大国化の過程とそれにともなう対外関係の変化、アジアの経済成長の特徴や問題点、社会主義の停滞と新自由主義の関係、冷戦の終結とその後の地域紛争解決のために必要なことについて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査 定期考査	振り返りシート ワークシート 定期考査	家庭課題（授業内容のまとめ課題） 振り返りシート ペアワークで問題点の検討（評価シート）

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

		・地域統合 ①冷戦終結後の世界で、地域連合の役割が大きくなったことを理解する。 ②現代の地域連合の特徴について考察し、理解する。 ・現代世界と現代日本の諸課題 ①現代世界の諸課題と解決に向けての方策について考察し、理解する。 ②多文化主義や少数者の権利確保の理念を理解する。 ③55 年体制崩壊後の日本の政治の動きを、バブル景気崩壊後の経済状況と関連付けながら理解する。 ④現在の日本が抱える諸課題を知り、可能であれば歴史的経緯もふまえて問題解決の方法を考える。	a: EU 結成に至るヨーロッパ統合の過程、ASEAN の性格が変化したことを理解できている。現代の国際社会における諸課題、多文化主義や少数者の権利確保の動きが誕生した背景を理解できている。日本における 55 年体制崩壊後の政界再編の概要、バブル景気崩壊後の不況によって生じた諸問題、現代の日本が抱える諸課題を分野ごとに理解できている。 b: 資料などから、現代の地域連合の特徴について考察し、表現できている。資料などから現代の国際社会や日本が抱える諸課題を解決する方向性を考え、表現できている。 c: 地域統合の進展と役割、現代の国際社会や日本が抱える諸課題の解決に向けて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 定期考査	家庭課題（現在の地域統合状況の調べ学習）	1 年間の振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度